

OECD 生徒の学習到達度調査（PISA）
2025 年本調査について＜概要＞

令和 6 年 9 月
国立教育政策研究所

本調査の目的

「生徒の学習到達度調査(PISA 調査)」は、OECD が中心となって実施する国際的な学習到達度に関する調査です。PISA 調査の目的は、義務教育終了段階の 15 歳の生徒が、それまでに身に付けた知識や技能を実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかを測ることにあります。また、その調査結果は、我が国の生徒の学習到達度等を諸要因との関係において把握できること、また、国際的な比較分析ができることから、我が国の教育政策の企画立案や教育指導の改善等においての重要な指標となっています。

PISA 調査は、2000 年の第 1 回調査以降、おおむね 3 年ごとに実施されており、2025（令和 6）年には、約 90 か国・地域が参加して第 9 回調査が実施される予定です。

2025 年調査では、科学的コンピテンシーを中心分野として、読解力、数学的リテラシーの 3 分野と、革新分野としてラーニング・イン・デジタルワールド（Learning in the Digital World: 略称 LDW）の調査が、コンピュータ使用型調査（オンライン）により実施されます。

本調査実施期間と対象者

調査実施期間は 2025(令和 7)年 6 月 12 日（木）～8 月 6 日（水） です。この期間中に、それぞれ抽出された学校の都合の良い日時に調査を実施します。

対象は、高等学校普通科、総合学科及び専門学科に属する高校 1 年生、高等専門学校 1 年生並びに中等教育学校後期課程 1 年生となっています。全国から 200 校（学科）が無作為に抽出され、更に各対象学科の生徒の中から 40 名（生徒数が 40 人未満の場合は、生徒全員） が無作為に抽出され、計約 8,000 人が調査対象者となります。

本調査の内容：（１）生徒を対象とする調査、（２）校長を対象とする調査

（１）生徒を対象とする調査

生徒の学習到達度に関するテストと生徒の学習環境等に関する生徒質問調査から構成される、所要時間が 4 時間程度の調査です。オンライン接続された学校のコンピュータを使用し、実施は学校の教職員に担当していただきます。（状況によっては、オフラインでの調査実施となる可能性がございます。）

調査内容	調査の流れ	所要時間
コンピュータ使用型調査 (オンライン)	生徒の入室、ログイン、PISA 調査 の紹介、調査の受け方と練習問題	35 分程度
	調査実施(前半)	60～70 分
	(休憩)	5 分
	調査実施(後半)	60～70 分
	(休憩)	10 分
	生徒質問調査の実施	最大 50 分
	調査の終了、ログイン用紙の回収、 生徒の解散	10 分程度
		計 4 時間程度

(注) コンピュータ使用型調査(オンライン)では、生徒がそれぞれの端末より OECD の調査専用サイトに直接アクセスし、解答・回答がオンライン上に自動的に保存されます。

(2) 学校長を対象とする調査

学校の状況に関して、学校長又は学校長に代わる方が回答する調査です。調査の実施期間内に、インターネット回線につながったコンピュータより回答いただきます。回答に要する時間は 60 分程度です。

スケジュール(予定)

- ① 調査対象校に関する通知(2024 年 10 月下旬)
- ② 調査に関する説明会(オンライン)(2024 年 11 月頃)
- ③ コンピュータ環境及び調査実施日時の照会(2025 年 1 月頃)
- ④ 事務局から調査実施関連文書等を発出(2025 年 4 月上旬)
- ⑤ 調査実施日の確定(電話またはメールで事務局と打合せ)(2025 年 4 月上旬まで)
- ⑥ 生徒名簿の提出(2025 年 4 月)
- ⑦ コンピュータ診断の実施及び診断結果の事務局への報告(2025 年 4 月～5 月頃)
- ⑧ 調査実施説明会(オンライン)への参加(2025 年 5 月中旬頃を予定)
- ⑨ 調査資材の受領及び保管(実施日の約 3 営業日前までに調査資材到着予定)
- ⑩ 調査の実施
- ⑪ 調査資材の返送(調査実施日又は翌日)

PISA 調査に関する連絡・問合せ先

〒100-8951 東京都千代田区霞が関 3-2-2

文部科学省国立教育政策研究所 OECD-PISA 調査プロジェクトチーム事務局

TEL : 03-6733-6895, 6679

E メール : pisaschool@nier.go.jp